

「振り返りシート」、「授業チェック表」、「手立て一覧表」を用いた 授業改善の手引き

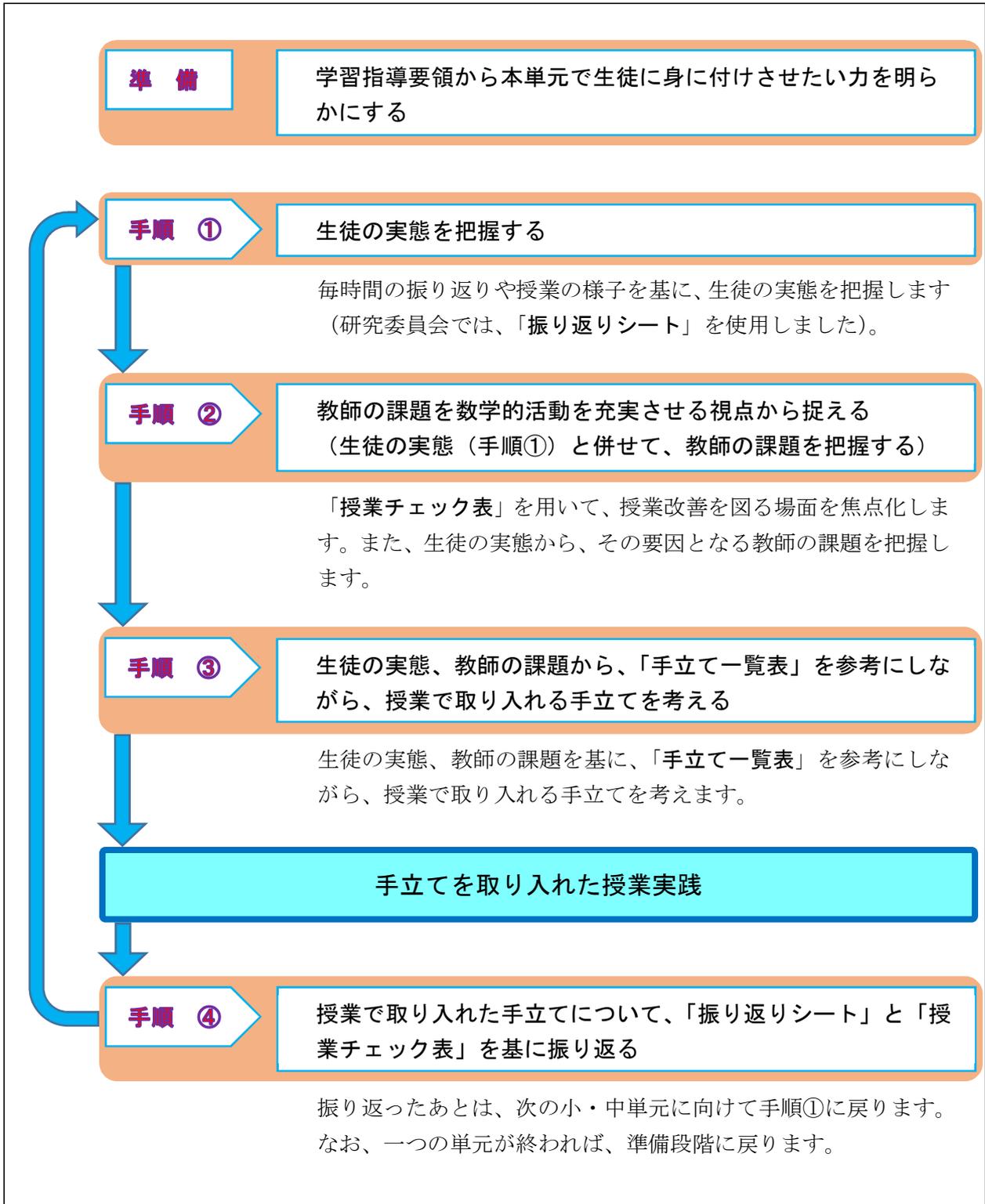
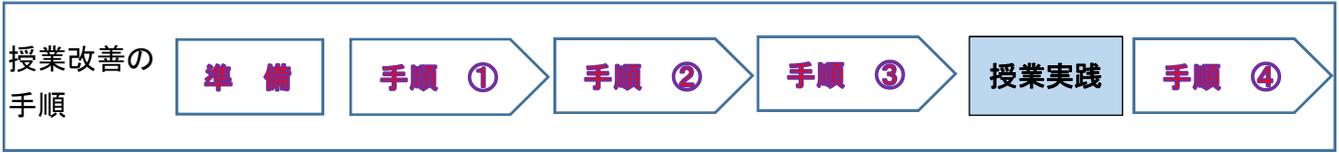


図 授業改善の手順

「振り返りシート」と「授業チェック表」、「手立て一覧表」を用いた授業改善の手順を、1 年生単元「変化と対応」を例に紹介します。



準備 学習指導要領から本単元で生徒に身に付けさせたい力を明らかにする

【現行学習指導要領】

単元で身に付けさせたい力	<p>「変化と対応」の単元で身に付けさせたい力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関数関係の意味を理解すること ・比例、反比例の意味を理解すること ・座標の意味を理解すること ・比例、反比例を表、式、グラフなどで表し、それらの特徴を理解すること ・比例、反比例を用いて具体的な事象を捉え説明すること
--------------	---

手順 ① 生徒の実態を把握する

研究委員会では、生徒の実態を把握するために「振り返りシート」を使用しました。授業の最後に生徒に記入させ、振り返りシートを回収して点検を行い、生徒のつまずきや状況を把握します。

振り返りシート		単元名「変化と対応」				1年 組 号()	
日付	学習内容	意欲的に取り組む	学習内容の理解	分かるように説明	協力して課題解決	分かったこと	分からなかったこと
記入例		◎・○・△の3段階評価					
4/20	正の数負の数の大小	◎	○	△	○	負の数は、絶対値が大きいほど小さくなる。	3つの数の大小の表し方がよく分からなかった。
	関数について知る	◎	◎	/	○	身の回りにはともなって変わる数量がある。	特になし
	関数の様子を表やグラフで表す	○	○	/	/	表は作ることができた。変域が分かった。数直線で考えると分かりやすかった。	不等号の使い方が分からなくなることがあった。



回収した振り返りシートを点検してみると、学習内容の理解には、◎や○がついているけど、説明をしたり、協力して課題解決をしたりする欄には斜線を引いている生徒が多いな。それに、ふだんから説明する活動には、苦手意識をもっている生徒が多いと感じるな。分からなかったところの記述の部分は、個別指導や一斉指導で重点的に復習をさせたり、つまずきを把握して次の授業の流れを考えたりすることが大切だな。

手順 ②

教師の課題を数学的活動を充実させる視点から捉える
(生徒の実態(手順①)と併せて、教師の課題を把握する)

「授業チェック表」を用います。1時間の授業の中で、「授業に位置付ける主な数学的活動」をどの程度取り入れているかチェックします。中単元程度(5、6単位時間分程度)で振り返ってチェック(✓)します。

授業に位置付ける主な数学的活動の中で、できている項目にチェック(☑)してみましょう。 (☐チェックが付けなかった項目については、「手立て一覧表(具体例)」を参考にしてください。)	チェック日											
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
★授業で必要となる前時までの学習内容を復習したり、本時の課題を知ったりする活動(主につかむ段階)	★											
<input type="checkbox"/> 興味・関心をもつことができるような課題に取り組みさせていますか。 <input type="checkbox"/> 課題提示の仕方の工夫を行っていますか。 <input type="checkbox"/> 本時の学習に必要な、これまで学習した内容を復習させる時間を設けていますか。	✓											
【ア】成り立つ事柄を予想する活動(主に見通す段階)	【ア】											
<input type="checkbox"/> 課題について、分かっていること、分からないこと、何を求めなければならぬかを確認させていますか。 <input type="checkbox"/> 課題解決の方法や結果を予想させていますか。 <input type="checkbox"/> 課題を解決するための見通しをもたせ、これまで学習した内容の中から何が利用できるのかを考えさせていますか。	✓		✓	✓								
【イ】観察・操作などの具体的な活動(主に見通す段階、練り合う段階)	【イ】											
<input type="checkbox"/> 図形や数量などの性質を、具体的な操作活動を通して見いだすことができるようにしていますか。 <input type="checkbox"/> 解決に向けて粘り強く取り組ませていますか。 <input type="checkbox"/> 得られた結果から予想したことが正しいかどうかを判断させていますか。	✓		✓	✓								
【ウ】自分の考えを人に伝える活動・人の考えを理解する活動(主に練り合う段階、深める段階)	【ウ】											
<input type="checkbox"/> 自分の考えをもって、説明することができるようにしていますか。 <input type="checkbox"/> 目的に応じて、言葉や数、式、図、表、グラフなどの数学的な表現を用いて説明することができるようにしていますか。 <input type="checkbox"/> 多様な考えに触れさせ、よりよい方法で課題を解決することができるようにしていますか。				✓								
【エ】統合的・発展的に考える活動(主に深める段階)	【エ】											
<input type="checkbox"/> 課題の条件や場面設定を変えた課題に取り組ませていますか。 <input type="checkbox"/> これまで学習した内容の考察の範囲を拡げて考えさせていますか。 <input type="checkbox"/> これまで学習した内容と新しく学習した内容を、一つにまとめ合わせ考えさせていますか。												
【オ】自分が行った活動を振り返る活動(主に深める段階、まとめる段階)	【オ】											
<input type="checkbox"/> 学習した内容をまとめさせることができるようにしていますか。 <input type="checkbox"/> 解決の過程を振り返らせ、数学のよさを実感させることができるようにしていますか。 <input type="checkbox"/> 新たな課題を考えさせることができるようにしていますか。	✓	✓		✓								



チェックしてみると、チェック項目に偏りが出ているのが分かるな。特に【ウ 自分の考えを人に伝える活動・人の考えを理解する活動】、【エ 統合的・発展的に考える活動】の項目のチェック(✓)が少ないな。

手順 ③

生徒の実態、教師の課題から、「手立て一覧表」を参考にしながら、授業で取り入れる手立てを考える

「振り返りシート」と「授業チェック表」の結果を基に、「手立て一覧表」を参考に、次の授業や小・中単元の学習内容において取り入れる手立てを検討します。

【ウ 自分の考えを人に伝える活動・人の考えを理解する活動】
(主に練り合う段階、深める段階)

ウ1 自分の考えをもって、説明することができるようにしていますか。

- ・ 自分の考えをもたせるために、個人で考える時間を取る。
- ・ 話し合う目的や必然性をもたせる。

ウ2 目的に応じて、言葉や数、式、図、表、グラフなどの数学的な表現を用いて説明することができるようにしていますか。

- ・ 数学的な表現を用いて説明することができるように、具体例を示す。
- ・ 言葉や数、式などを関連付け、簡潔・明瞭・的確に説明させる。

ウ3 多様な考えに触れさせ、よりよい方法で課題を解決することができるようにしていますか。

- ・ 他者の説明で分かりやすい説明は、自分の説明に書き加えさせる。
- ・ 他者の考えと自分の考えを比較して、同じ考えや違う考えを確認させる。



次の中単元では、生徒にどのような数学的な表現を用いると良いか例を示したり、他の人の考えを聞くときに自分の考えとの共通点や相違点に注目させる活動を取り入れよう。

具体的には、グループで説明させる前に、どのような言葉（キーワード）を用いてどのように伝えれば良いか、例を挙げて説明する時間を設定するようにしよう。そして、グループで説明し合う活動を取り入れる際に、他の人の考えを聞くときには、自分の考えとの共通点や相違点に注目してメモを取ることをさせてみよう。よし、実践してみよう！

手立てを取り入れた授業実践

手順 ④

授業で取り入れた手立てについて、「振り返りシート」と「授業チェック表」を基に振り返る

手立てを取り入れた授業実践や中単元の後に、「振り返りシート」と「授業チェック表」を基に振り返ります。

「振り返りシート」から

振り返りシート		単元名「変化と対応」				1年 組	号()
日付	学習内容	意欲的に 取り組む	学習内容 の理解	分かるよ うに説明	協力して 課題解決	分かったこと	分からなかったこと
	比例の関係を式で表す 比例の関係の表から 特徴を調べる	◎	◎	○	○	比例は小学校のときにも 習った。y=axの式と特徴が 分かった。	特になし



やった！回収した振り返りシートを点検してみると、「分かるように説明」の項目に、◎や○を付けた生徒が以前より増えているようだ。
 今回の授業では、ふだんは説明することを苦手とする生徒も、例が示されたことで数学的な表現を用いて説明することができていたぞ。他の人の考えを聞くときに、自分の考えとの共通点や相違点に注目させたことで、比例の表の特徴について、自分の考え以外の特徴をつかむことができた生徒もいたぞ。

「授業チェック表」から

【ウ 自分の考えを人に伝える活動・人の考えを理解する活動】 (主に繰り返合う段階、深める段階)	【ウ】				
<input type="checkbox"/> 自分の考えをもって、説明することができるようにしていますか。		✓			
<input type="checkbox"/> 目的に応じて、言葉や数、式、図、表、グラフなどの数学的な表現を用いて説明することができるようにしていますか。			✓		
<input type="checkbox"/> 多様な考えに触れさせ、よりよい方法で課題を解決することができるようにしていますか。			✓		



「目的に応じて、言葉や数、式、図、表、グラフなどの数学的な表現を用いて説明させる」と「多様な考えに触れさせ、よりよい方法で課題を解決することができるようにさせる」に取り組むことができたぞ。この二つにチェック✓を付けよう。今後も継続して、この手立てに取り組んでいこう。

次は、【エ 統合的・発展的に考える活動】の「課題の条件や場面設定を変えた課題に取り組む」ための手立てを考えて授業を計画してみよう。また、【オ 自分が行った活動を振り返る活動】の「新たな課題を考えることができる」ための手立ても考えて、生徒の数学的な考え方に深まりをもたせたり、数学の楽しさを味わわせたりしたいな。

そして、次の小・中単元に向けて手順①に戻り、この手順を繰り返しながらふだんの授業の質的改善を図っていきます。なお、一つの単元が終われば、準備段階に戻ります。

単元末においては、準備段階で明らかにした生徒に身に付けさせたい力が身に付いたかどうかを単元末テストや定期テストの結果を基に確認します。

POINT

手立てについて振り返る際には、手立てを取り入れたことで、生徒に期待される変容が見られたかどうか、生徒の実態を基に判断することが大切です。
 また、「授業チェック表」を基に、単元を通して「授業に位置付ける数学的活動」をバランスよく取り入れることが大切です。